

## 第4号議案

全国需要想定水準について

(案)

業務規程 第21条に基づき、全国の需要想定を策定するための基礎となる全国需要想定水準を別紙のとおり策定したい。

以上

### 【添付資料】

別紙：全国需要想定水準について

## 参考

### 【業務規程 抜粋】

第21条 本機関は、全国の需要想定を策定するため、その基礎となる全国需要想定水準を策定する。

### 【送配電等業務指針 抜粋】

#### 第9条

業務規程第21条第1項に定める全国需要想定水準は、前条の検証結果を反映し、原則として、人口・経済指標等の実績と需要実績との回帰分析又は需要実績の時系列傾向線に基づき策定する。なお、想定期間及び想定対象は、業務規程第21条第2項第1号ア及び第2号に準拠する。

2 前項の回帰分析にあたっては、本機関が業務規程第20条に基づき、会員に通知し、公表する人口・経済指標の見通しを用いる。

# 別紙：全国需要想定水準について

2015.12.24

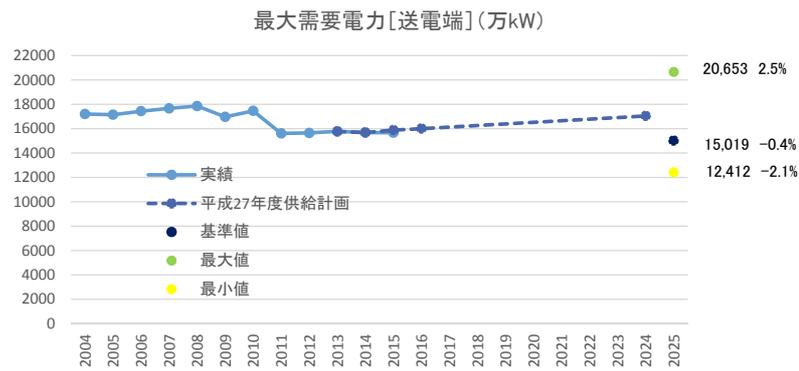
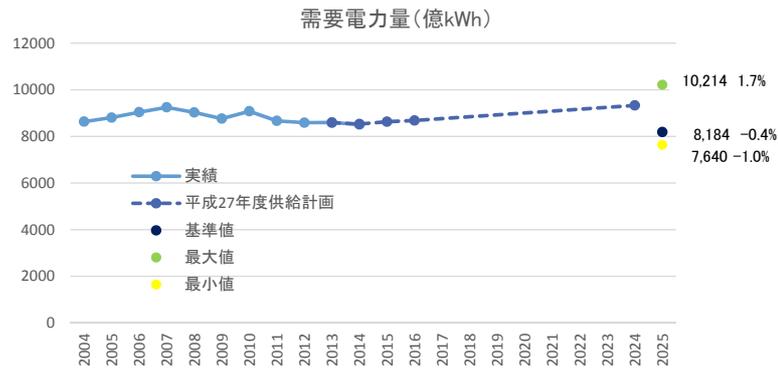
## 全国需要想定水準の算出方法

2

- 全国需要想定水準の策定に当たっては、送配電等業務指針第9条に基づき、経済指標・人口等の実績と電力需要の実績との回帰分析（相関）や、電力需要実績の時系列傾向線（トレンド）等を用いて、考えられる複数のケースを算出した。
- リーマンショック・東日本大震災の前後で、需要の変化傾向に不連続性がみられ、節電・省エネによって需要構造が急激に変化したと考えられる。よって、需要実績データとして大震災以降の値（2011～2014年）を用いるとともに、回帰分析における決定係数の最大となるものを基準値として採用した。
- 基準値以外にも、その他経済指標との相関により、水準としての最大値・最小値を確認した。

算出方法			
需要電力量	下記3区分(家庭用その他・業務用・産業用その他)の合計とした。		
	基準	家庭用その他	震災後の需要電力量の時系列傾向
		業務用	震災後の需要電力量の時系列傾向
		産業用その他	震災後の二次産業資本ストック当たり需要電力量の時系列傾向
	最大	家庭用その他	過去10年間の需要電力量の時系列傾向
		業務用	過去10年間の三次産業資本ストックと需要電力量の相関式に将来の三次産業資本ストック推計値を代入
		産業用その他	過去10年間のGDP当たり需要電力量の時系列傾向
	最小	家庭用その他	震災後の契約口数及び原単位の時系列傾向
		業務用	震災後の三次産業資本ストック当たり需要電力量の時系列傾向
		産業用その他	震災後の需要電力量の時系列傾向
	最大需要電力 (送電端)	下記2区分(夏季需要・ベース需要)の合計とした。	
		基準	夏季需要
ベース需要			震災後の二次産業及び三次産業の資本ストック当たりベース需要の時系列傾向
最大		夏季需要	震災後のGDP当たり夏季需要の時系列傾向
		ベース需要	震災後のGDP当たりベース需要の時系列傾向
最小		夏季需要	過去10年間の民間最終消費支出当たり夏季需要の時系列傾向
		ベース需要	過去10年間の二次産業及び三次産業の資本ストック当たりベース需要の時系列傾向

注) 最大需要電力のうち、夏季の気温影響等による需要分を夏季需要とし、それ以外をベース需要としている。



注) 図中の%は、年平均増加率(2014~25)を示す。